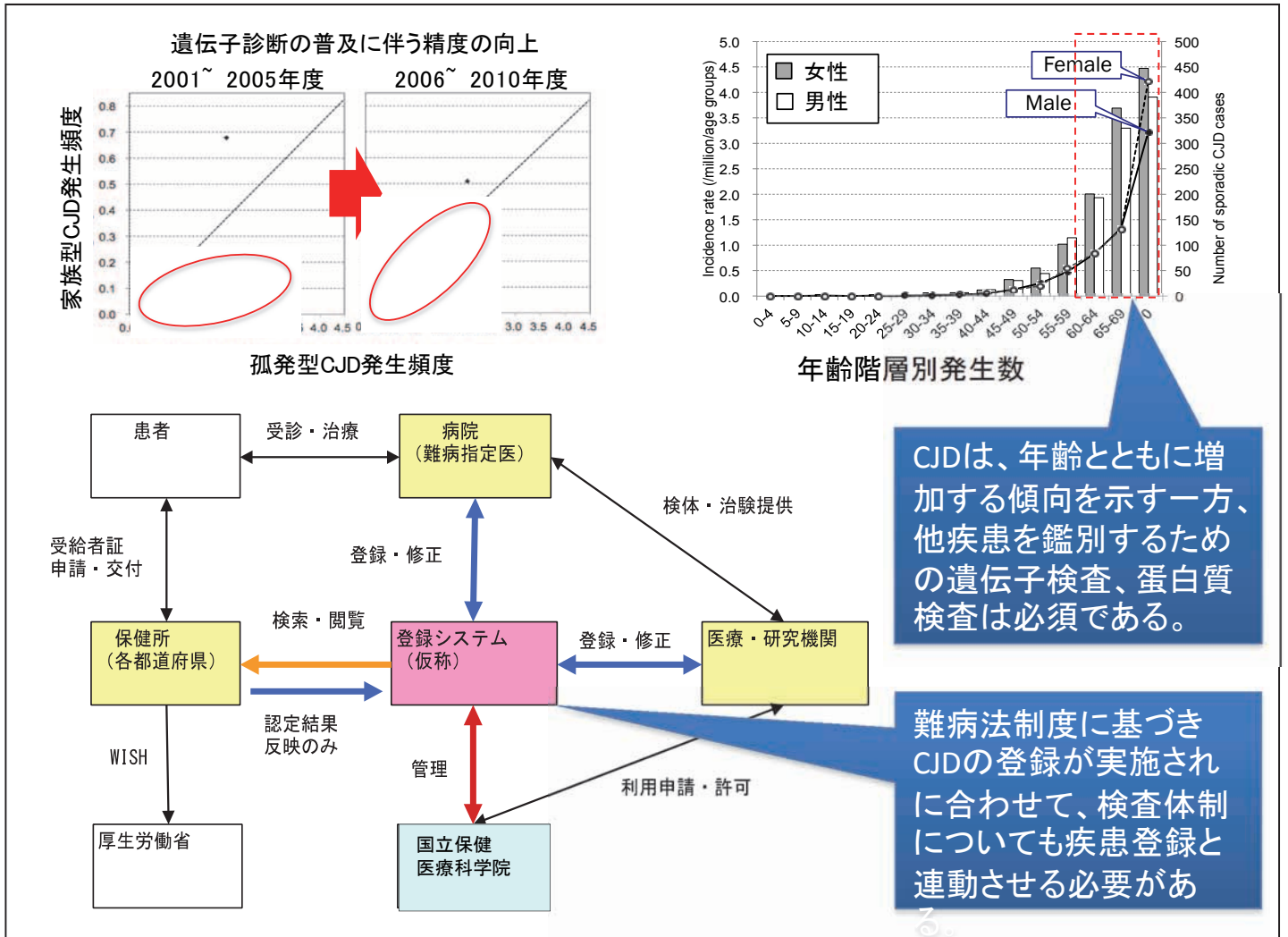


プリオン病研究班データベースの構築と診断精度の向上

研究分担者： 国立保健医療科学院健康危機管理研究部 金谷泰宏



CJDは、年齢とともに増加する傾向を示す一方、他疾患を鑑別するための遺伝子検査、蛋白質検査は必須である。

難病法制度に基づきCJDの登録が実施されるに合わせ、検査体制についても疾患登録と連動させる必要がある。

解説

1. 特定疾患調査解析システムを基盤とした研究班データベースの構築。
2. 国際連携を視野に入れた登録項目の標準化。
3. 画像診断、検査技術の向上に合わせた診断アルゴリズムの見直し。
4. 疾患登録と疾患特異的検査を連結させることによる診断精度の向上。